

# 森林のはたらきを知って、水源を守ろう！

森林のはたらきによって、水が生まれているんだね。森林を守らないといけないね！

筑後川などの川をさかのぼっていくと、水源となっているダムや森林にたどり着きます。私たちに豊かな暮らしをもたらしてくれる水。その源は森林にあります。じゃ口をひねると、水が出る。その向こうには、水で結ばれた水源地域・流域があることに、改めて思いをはせ、感謝の気持ちを忘れずに使っていきたいですね！

## 水は森林から生まれる

「緑のダム」と呼ばれる森林のはたらきを、知っていますか？豊かな森林は、降った雨を地中にしみ込ませ、そこでたくわえられた水は、きれいになってゆっくりと川やダムに流れ込みます。これを森林の「水源かん養機能」といいます。森林を守ること・それは水を守ることになるのです。

## 水を育む森林をみんなで守りましょう！

森林が荒れると、水をたくわえ、水や土が流れ出るのを防ぐはたらきが弱くなり、川の水がなくなったり、土砂崩れなどの災害が起こりやすくなります。森林のはたらきを保つためにも、水源地域では、森林が荒れないよう手入れをして守る必要があります。

## 玄界灘の水「飲む海水」を買って森林を守ろう！

「飲む海水」を3本買うと、苗木1本に。

「飲む海水」の販売1本につき100円を、森林と水を守るための植樹の苗木代として活用しています。森林保全に貢献できますので、ぜひ、お買い求めください。

※福岡市役所1階にて販売中  
(1本140円)



## 水源地域とのさまざまな交流体験に参加してみませんか。

福岡市水道局では、市民の皆さんと一緒に水源地域を訪れ、植樹や下草刈りなどの森林の手入れをしたり、水源地域住民の方々との交流を深める事業を行ったりしています。子どもから大人まで幅広い世代の方が参加しています。



- ・200海里の森づくり (日田市中津江村)
  - ・こども水たんけん隊 (朝倉市)
  - ・弥生の都吉野ヶ里交流事業 (吉野ヶ里町)
- 今後、市政だより等で参加者を募集しますので、お見逃しなく！



弥生の都吉野ヶ里交流事業(吉野ヶ里町)

## バーチャル映像で楽しむダム見学ツアー

普段、足を踏み入れることのできないダムの堤体や監査廊内部の360°パノラマ映像のほか、上空から、ダム、水源かん養林のドローン映像などをスマホやタブレットから楽しむことができます。二次元コードから簡単にアクセスできますので、ぜひ、ご視聴ください。



## 令和5年度の 主な取組みと予算額

水道事業の基本計画「福岡市水道長期ビジョン2028」(平成29～令和10年度)及び実施計画「福岡市水道中期経営計画」(令和3～6年度)に基づき各事業を着実に推進します。

**施策目標 1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進**

将来にわたり、安定的に水道水を供給するとともに、限りある水資源を有効に活用します。  
(主な取組み)

配水管の整備 ●配水管の更新(約45km)や新設		111億2千万円
浄水場の再編 ●乙金浄水場の増強や高宮系送水管の整備 等		42億4千万円

**施策目標 3 危機管理対策の推進**

より災害に強い水道を目指して、多様なリスクに迅速かつ的確に対応します。  
(主な取組み)

耐震ネットワーク工事の推進 ●収容避難所などへの管路の耐震化		5億円
水道原水の監視 ●番托取水場かび臭物質自動計測装置の新設 等		7百万円

**施策目標 2 安全で良質な水道水の供給**

全てのお客さまに安心してお使いいただける水道水を提供します。  
(主な取組み)

水源かん養林の整備 ●水道局が所有する市内水源かん養林の整備(間伐 等) ●ドローンを活用した水源かん養林の点検 等		3千万円
水質管理の充実 ●水質検査機器の更新 等		5千万円

**施策目標 4 安定経営の持続**

将来にわたり、安定経営を持続させ、経営の基盤となる水道技術を確実に次世代に継承していきます。  
(主な取組み)

積極的な情報提供 ●広報紙「みずだより」の発行、こども水道教室の実施 等		5千万円
水道ICTの推進 ●水道料金系システムの再構築 ●ICT技術を活用した水道施設の維持管理等の検討、検証 等		5億1千万円